



# いばらき県議会だより

No.195

茨城県議会

検索

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています  
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/?page=3044>  
「いばキラTV」 <http://ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]



## 県北地域に遊びに行こう！

写真上 OSJ奥久慈トレイルレース (大子町・常陸太田市)

(写真提供: 有限会社パワースポーツ <http://www.powersports.co.jp/>)

平成21年から大子町・常陸太田市で始まり、今回で8回目の開催となる。例年およそ1000名が参加しており、今年は5月29日(日)にレースが開催される予定。

写真左 竜神大吊橋バンジージャンプと竜神峡鯉のぼりまつり (常陸太田市)

(写真提供: スタンダードムーブ株式会社)

高さ最大100mとなる竜神大吊橋バンジージャンプは、シーズン常設開催サイトとしては日本最大級となる。予約優先。

また、竜神峡鯉のぼりまつりは、5月15日(日)まで開催される。約1000匹の鯉のぼりが大空を群泳し、期間中は、物産市などさまざまなイベントが開催される。

他にも、県内各地では、さまざまなイベントが開催されております。下記の「観光いばらき」のサイトをご覧ください。

いばらきの観光情報は「観光いばらき」ホームページでご覧いただけます。 <http://www.ibarakiguide.jp/>

### 今定例会の概要

平成二十八年第一回定例会は、二月二十六日から三月二十四日まで二十八日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例、白タク行為の容認を旨とした規制改革の自粛を求める意見書など、知事から、平成二十八年度茨城県一般会計予算、茨城県行政不服審査会条例などが提出されました。

代表質問は、子育てしやすい県を目指した少子化対策の充実、知事の情報発信、茨城空港のさらなる飛躍を目指す今後の取り組み、大規模太陽光発電施設建設に係るガイドラインの策定などの項目について行われました。(二～三面)

一般質問は、茨城県立あすなるの郷の建て替え、医療費助成と保育の拡充、G7茨城・つくば科学技術大臣会合での情報発信などの項目について行われました。(四～六面)

各常任委員会は、付託議案の審査、その他所管事項に関する質問を行い、茨城県北芸術祭の成功に向けた今後の取り組み、学生などに地域の情報を知ってもらうための取り組み、新たに設置される子ども政策局の目的、本県農林水産業の今後の展望、東関東自動車道水戸線の進捗状況、交通安全対策への取り組みなどを議論しました。(八～九面)

予算特別委員会は、農業関係高校の魅力づくり、非正規職員と正規職員とのベストミックス、北関東三県の連携防災士資格の普及啓発などの質疑を行いました。(七面)

今回の定例会では、予算、条例、人事報告、意見書などの九十八件の議案などが可決、同意、承認されました。



# 第1回定例会の主な日程

平成28年第1回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 2月26日(金) **本会議**  
(開会、知事提出議案説明)
- 3月2日(水) } **本会議**  
3日(木) } (代表質問・質疑)
- 3月4日(金) } **本会議**  
7日(月) } (一般質問・質疑)  
8日(火)  
9日(水)
- 3月14日(月) } **常任委員会**  
15日(火)
- 3月17日(木) **本会議**  
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 3月18日(金) } **予算特別委員会**  
22日(火)
- 3月24日(木) **本会議**  
(委員長報告、採決、閉会)

## 代表質問※(要旨)



常井 洋治 議員  
いばらき自民党  
笠間市選出  
一括方式

**子育てしやすい県を目指した少子化対策の充実**

**議員** 地方創生の総合戦略に合計特殊出生率の増加が掲げられている。夫婦の子どもの数の減少理由に子育ての経済的負担が挙げられるが、さらなる軽減により、子育てしやすい茨城をアピールし、出生数の増や若い世代の定住と流入を図るべきだが。

**知事** 平成二十八年度から、小児・妊産婦を対象に医療費助成制度の所得制限を大幅に緩和するとともに、第三子以降の保育料の無料化要件を緩和する。今後新たに設置する「子ども政策局」を中心に、子育て家庭へのさらなる負担軽減策をはじめとする少子化対策に取り組み、若い世代の定住と流入につなげる。

**がん対策の実践**

**議員** 診療※意識の醸成と検診

推進を主眼としたがん条例が施行され、がん対策は県民総ぐるみで実践する時を迎えた。県民の「条例で対策はこうも変わった」という実感がその大きな一歩となる。態勢と施策展開は。

**知事** がん対策推進室の新設や二十億円のがん対策基金の設置などにより、対策を総合的・安定的に推進する。がん検診推進強化月間を設けるとともに、市町村などと一体となった検診受診率の向上施策、がん医療の充実、がん患者が最先端の治療を受けられる環境の整備などに取組む。がん罹患者にも安心して暮らせる社会の構築を目指す。

**県立中央病院の全面建て替え**

**議員** 中央病院の狭隘化は、極めて深刻である。県は、手術室の増築を計画するが、災害への対応や経費の問題、使い勝手などを総合的に考慮すれば、免震構造を備えた全面建て替えの構想を打ち立てるべきである。早期の検討を求めるが、所見は。

**知事** 地域医療構想を踏まえた中央病院の将来像や周辺の用地

**● 質問者**

3月2日(水)  
常井 洋治 (いばらき自民党)  
長谷川 修平 (民進党※)

3月3日(木)  
白井 平八郎 (自民県政クラブ)  
井手 義弘 (公明党)

の状況など流動的で不確定な要素が多い一方、診療機能の強化や医師養成、教育機能の充実が待ったなしの課題である。これらを総合的に判断すると、既存の施設を最大限に活用しながら、当面の需要に応える新棟を、免震構造を備えた形で整備していくことが最善の方法と考える。

**常陽銀行と足利HDとの経営統合を契機とした新たな経済圏づくり**

**議員** 常陽銀行と足利HDとの経営統合により、地域産業は大きな転換期を迎える。これを契機に、栃木県とのさらなる連携強化の下、企業誘致や輸出の拡大、観光戦略など北関東三県経済圏を見据えた新たな経済圏を基盤とした産業展開が必要だが。

**知事** 統合を機に商談会などでの取引拡大、企業誘致面での広域な情報収集、海外ミッション派遣参加企業の増加などが期待される。農業分野の輸出促進に広域連携で取り組むほか二十八年度は北関東三県のアンテナショップをベトナムに設置する。観光面でも広域観光ルートの形成などを三県合同で実施する。



中学校の部活動における外部指導者の指導の様子

**新しい時代に対応した学校づくり**

**議員** 急激な時代の変化に対応するべく、チームとしての学校づくりが議論されている。多忙さが問題視される教員の負担軽減を図り、生徒としっかりと向き合える環境を整えることや強固で責任ある体制を構築することが課題と考えるが、対応は。

**教育長** 平成二十八年度は、ス

## 国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会

平成三十一年に本県で開催される「国民体育大会」は、国内最大級のスポーツの祭典であり、本県スポーツの普及や振興、さらには文化の発展に大きく貢献する大会です。また、国体に併せて開催される「全国障害者スポーツ大会」は、障害者の方がスポーツの楽しさを実感するとともに、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することが期待され、これら両大会の成功に向け、県の総力を挙げて臨む必要があります。

さらに、その翌年には「東京オリンピック・パラリンピック」など、本県に関連する大規模なスポーツイベントが立て続けに開催される予定でありますので、これらの機会を効果的に活用し、いばらきの魅力発信を推進するとともに、スポーツ文化、観光、産業などの振興、地域の活性化につなげていくことが重要です。

そこで、県議会として、茨城県国体・全国障害者スポーツ大会の推進、および、これらを活用した地域づくりなどに関する諸方策について調査・検討を行うため、「国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会」を三月二十四日の本会議で設置しました。委員構成は十五名で、次の通りです。

委員長	海野 透	委員	下路 健次郎
副委員長	石井 邦一	委員	星田 弘司
委員	桜井 富夫	委員	田口 伸一
委員	田山 東湖	委員	高橋 勝則
委員	白田 信夫	委員	江田 隆記
委員	山岡 恒夫	委員	長谷川 修平
委員	萩原 勇	委員	高崎 進
委員	加藤 明良		

## 質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっております。

- 一括方式  
質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求めめる方式。
- 分割方式  
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求めめる方式。

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。  
※【診療】…がんに関する正しい知識を習得し、提供されるがん医療を決定できることについて自覚を持って、がん医療に主体的に参画すること。  
※【民進党】…平成28年3月28日に民主党から変更になりました。



### 代表質問(要旨)



議員 長谷川 修平 進 市 立 一括方式

#### 知事の情報発信

議員 本県の県づくりに、六期目の全国最多のベテラン知事としての情報発信力を期待している。知事は、自身の情報発信についてどう考えているのか。

知事 県産品のトップセールスを精力的に継続した結果、常陸牛が全国ブランドに成長したり、駐日ベトナム大使と良好な関係を構築した結果、国家主席の来県など、活発な交流に発展した。今後、G7茨城・つくば科学技術大臣会合や茨城国体など、国内外に本県をアピールする絶好の機会を迎えており、オール茨城で情報発信に取り組んでいく。



議員 井手 義弘 明 市 立 一括方式

#### 大規模太陽光発電施設建設に係るガイドラインの策定

議員 大規模太陽光発電施設の無秩序な乱立には一定のルールを定めるべきであり、施設建設に係る県独自のガイドラインを策定すべきと考えるが、所見は。

知事 今後、立地を避けるべきエリアなどの指定や適正な維持管理などの項目を盛り込んだガイドラインを策定し、太陽光発電事業の適切な実施に向け対応

#### 医療体制の充実

議員 県北地域の住民が安心して生活できるよう医師・看護師不足の解消など、医療体制の一層の充実を図ってほしい。どのように対策を講ずるのか。

知事 医師確保対策については、関係大学や地元市町村との連携のもと、指導医の確保を進め、地域の主要医療機関が後期研修プログラムの基幹病院や連携病院になれるよう努める。また、看護師確保対策については、昨年十月にスタートした離職時届出制度を活用しつつ、再就業対策を積極的に講じていく。

#### エネルギー資源の活用

議員 県北地域の振興策として、再生可能エネルギーや水素エネルギーなどの新エネルギーを活用した電源開発を考えるべきであるが、所見は。



3月に供用開始されたLNG基地(茨城港日立港区)

知事 再生可能エネルギーについては、地域社会との共生を図りながら進めていく。また、水素による実証試験施設の整備については、情報を収集していく。将来、天然ガスや水素による電源開発が具体化する際は、県北地域は有力な候補地の可能性があり、今後の動向を注視する。(ほかに、同一労働同一賃金、豊かな教育の実現なども質問)

被災自治体を支援する体制(総務、福祉医療のタスクフォース)の整備

議員 大規模災害発生時には、被災自治体の支援を受ける体制(総務分野や、福祉・介護や医療の分野をそれぞれ支援する体制(総務、福祉医療のタスクフォース)の整備が重要であると感じているが、所見は。

知事 総務分野に関しては、業務に精通している人材を募集して登録し、災害時に派遣する仕組みを整備していく。医療福祉分野については、災害派遣精神医療チーム(DPAT)の体制の充実や関係団体との連携を図り、引き続き、多職種連携によ

茨城県北芸術祭の目玉施策である茨城県北芸術祭に関して、「全体の予算規模」、「来場者数の目標」および「パスポート形式の入場券の販売時期および価格」は、また、今後の定期的な開催についての所見は。

議員 全体の予算規模は六億七千万円程度を見込んでおり、来場者数は約三十万人を当面目指していきたい。パスポート形式の入場券はおおむね二千円台とし、七月初旬の販売開始を予定している。定期的な開催については、今回実施した成果や課題

る支援体制を強化していく。



議員 白井 平八郎 自民県政クラブ 結 市 立 一括方式

#### 茨城空港のさらなる飛躍を目指す今後の取り組み

議員 茨城空港の将来を見据え、今後、国際路線の誘致や空港施設の機能強化にどのように取り組んでいくのか。

知事 国際線は現在の三路線に加え、Vエアの台北便と春秋航空の揚州経由成都便が就航し、三月末には二十一便まで増加する見込みである。東南アジアの国々で県内観光地を周遊するツアーも急増しつつあることから、チャーター便の運航支援を行うなど、路線の誘致に力を入れていく。空港施設は、当面は現在の施設をできる限り柔軟に運用しながら最低限必要な施設を確



設置が進む太陽光発電施設

などを踏まえ、判断していく。(ほかに、「ソーシャル・インクルージョン」の考え方を踏まえた県政施策、東海第二発電所の再稼働なども質問)

保していく。ターミナルビルの将来構想は今後の需要動向を見極め慎重に検討していく。本県への本社機能移転などの推進

議員 本県への本社機能の誘致に向けて、どう取り組むのか。

知事 国の地方拠点強化税制では対象外となる十市町についても優遇措置を講じ、全国でもトップクラスの優遇措置を定める。また、日立や鹿島の産業集積やつくばの高度な都市基盤など、地域の特性を最大限に生かした誘致活動を展開するとともに、新たな優遇制度を活用しながら本社機能の誘致を図っていく。

つくばに集積した科学技術を活かした科学教育

議員 県内の全ての児童生徒に対して、つくばにおける科学技術に接する機会を設けるべきと考えますが、どう取り組むのか。



Vエア就航セレモニーの様子

教育長 つくばの研究機関と連携して開発した中学生向け理科教材を授業に活用している。研究機関と連携した取り組みを、多くの学校で実施できるように働き掛ける。また、つくばの研究施設などを見学できる取り組みをHPで紹介し、小中学校の校外学習や遠足、家族での参加など利用促進を呼び掛けていく。(ほかに、畜産分野のTPP対策、自動車盗対策なども質問)

### 県議会を傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、是非お越しください。

また、児童および乳幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーおよび行政棟2階の県政シアターで本会議の中継をご覧ください。

なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽に声をお掛けください。

その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会議事事務局議事課にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

電話 029-301-5634



### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

3月4日(金)

館 静馬 議員  
(いばらき自民党)

江尻 加那 議員  
(日本共産党)

星田 弘司 議員  
(いばらき自民党)

3月7日(月)

萩原 勇 議員  
(いばらき自民党)

八島 功男 議員  
(公明党)

鈴木 定幸 議員  
(いばらき自民党)

3月8日(火)

川口 政弥 議員  
(自民県政クラブ)

高橋 勝則 議員  
(いばらき自民党)

外塚 潔 議員  
(いばらき自民党)

3月9日(水)

佐藤 光雄 議員  
(民進党)

水柿 一俊 議員  
(いばらき自民党)

村上 典男 議員  
(いばらき自民党)



静馬 議員  
いばらき自民党  
水戸市選出  
分割方式

#### 茨城県立あすなろの郷

議員 県立あすなろの郷は、障がい者支援施設の運営を主とした知的障がい者の総合支援施設であり、施設の老朽化が喫緊の課題となっている。施設を建て替えるべきだが、所見は。

知事 あすなろの郷は、老朽化、狭隘化が大変厳しいので、建て替えも前提とし、福祉以外の関係者を含む外部有識者による検討委員会において、県立施設としての概念の整理や運営主体などの課題も含め総合的に議論を進めていく。

#### 偕楽園の魅力向上

議員 東町運動公園体育館の完成や国体の開催に向けて、東町運動公園や歴史館から偕楽園、特に表門にどう誘客を図るのか、結果を伴う誘導方策についての所見は。

土木部長 歴史館から県道常磐公園線を通り、表門に至る既存のルートに加え、東町運動公園から歴史館園内を経由し、県道水戸岩間線を立体交差で横断して、表門から偕楽園に入園する新たな回遊ルートの構築を検討していきたい。

(ほかに、児童養護施設入所児童への支援、環境政策なども質問)



郷のあすなろされる検討が方り



江尻 加那 議員  
日本共産党  
水戸市選出  
一括方式

#### 医療費助成と保育の拡充

議員 子育て支援の拡充では、全ての子ども医療費の無料化、多子世帯の第三子以降の三歳から五歳児の保育料無償化、保育士給与の引き上げが必要だが、所見は。

#### 安全協定と県民世論の反映

議員 東海第二原発については廃炉を前提とし、原発事故の被害が及び得る全ての自治体が安全協定締結を求めることは当然である。そして、再稼働か廃炉か全県規模のアンケートなどの実施が必要と考えるが、所見は。



保育園で子どもたちが元気に遊ぶ様子



萩原 勇 議員  
いばらき自民党  
龍ヶ崎市選出  
一括方式

#### 防災・減災に向けた効果的な情報発信

議員 Lアラート※は、道路情報などの発信する情報の充実と、伝達する手段の充実の両方が必要であるが、今後、効果的な防災・減災の情報伝達にどう取り組むのか。

#### 龍ヶ崎市の「道の駅」整備への県の支援

議員 龍ヶ崎市では、牛久沼に隣接する国道六号沿いを候補地として「道の駅」の整備を進めているが、今後県は、どのような支援に取り組んでいくのか。



道の駅候補地からの景色  
(龍ヶ崎市佐貫町地内 龍ヶ崎市提供)



星田 弘司 議員  
いばらき自民党  
つくば市選出  
分割方式

#### G7茨城・つくば科学技術大臣会合

議員 会合の開催は、茨城・つくばの魅力の世界に発信する絶好の機会であると考え、会合における来訪者への魅力の発信に、県はどう取り組むのか。

知事 歓迎レセプションや晩餐会などで県産食材を使った料理や地酒を提供するほか、会場に最先端の科学技術や伝統工芸品の展示などを行う。また、地域の魅力を盛り込んだDVDを参加者などに配布するなど、あらゆる機会を捉えて魅力を効果的に発信していく。



G7茨城・つくば科学技術大臣会合  
100日前イベントの様子(つくば市)

#### つくば特別支援学校の過密解消

議員 県では石岡市への特別支援学校の新設を決定したが、これにより、つくば特別支援学校の過密問題をどのように解消するのか。

教育長 新校の整備や伊奈特別支援学校への通学区域の再編により、つくば特別支援学校の不足教室数は半減できると見込んでいる。また、残る不足教室についても、教室配置の見直しや施設の改修などを検討し、適切に対応していく。

(ほかに、筑波山ビクターセンターの開設(仮称)つくば警察署の整備なども質問)

#### 東日本大震災五周年

#### 追悼・復興祈念式典が開催されました

東日本大震災から五年目の三月十一日、茨城県庁舎九階講堂において東日本大震災五周年追悼・復興祈念式典が開催されました。

参列した小川一成議長は、犠牲者への追悼の言葉とともに、「執行部とも力を合わせ、活力ある郷土いばらきの創生に向け、全力をあげて復興に取り組みたい」とも、震災での経験、教訓を踏まえた災害に強い県土づくりに努めてまいります」と復興に向けた決意を語りました。



追悼の辞を述べる小川一成議長

※【Lアラート(災害情報共有システム)】…国や地方自治体などが発する災害情報を集約し、テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネットなどの多様なメディアを通じて一括配信するシステム。(本県および県内市町村は平成26年8月より運用中)



### 一般質問(要旨)



議員 八島 功明  
民主党 浦市選出  
一括方式

#### 世界湖沼会議の意義と取り組み

議員 本県で平成三十年に世界湖沼会議が開催されるが、その意義と成功に向けた取り組みは。

知事 水質保全対策に役立つ、世界の新たな知見に接することができると、水質保全の研究などの成果を発信し、世界各地の水環境の課題の解決に貢献することが可能となる。また、市民の環境活動を発表する機会を設け、海外での市民活動の展開を促すとともに、市民が参加しやすくすることで市民の機運の醸成を図っていく。



議員 鈴木 定幸  
民主党 大宮市選出  
一括方式

#### 鬼怒川決壊にみる土木行政の今後

議員 鬼怒川堤防決壊をはじめとする最近の大きな災害と犠牲者数を鑑み、今後の土木行政をどのように進めていくのか。

知事 国の直轄事業や国の補助で行う県の河川事業の予算の増額に向け、中央要望などを通して国に対して要望してきたが、今後は、さらなる予算確保に向け、市町村と連携し、国への働き掛けを強める。また、県の予算については、財政状況を勘案しつつ積極的に対応していく。

#### 就学前教育の充実

議員 小1プロブレム※の解消や幼保小連携などの就学前教育の充実へ向け、どう取り組むのか。

教育長 学識経験者などから成る就学前教育・家庭教育推進協議会を設置し、就学前教育の在り方を検討するほか、子ども政策局などと連携し、一体となって推進していく。また、幼保小連携についても教員・保育士の合同研修会などで、改善手法などを検討していく。(ほかに、(仮称)水郷筑波サイクリングコース整備、茨城型地域包括ケアシステム構築なども質問)



第15回世界湖沼会議の様子(イタリア・ベルギー)

#### 県産木材の認証制度

議員 県産木材の利用促進を図るため、林業関係団体による独自の産地認証制度を早急に確立すべきと考えるが、所見は。

農林水産部長 認証制度の導入については、県木材協同組合連合会が検討を進めており、県でも品質確保のための基準を示すなど積極的な支援を行ってきたところである。品質の高い県産木材の供給体制も整ってきたことから、早急な制度の立ち上げに努める。(ほかに、ワークリック義援金、教育格差の是正なども質問)



鬼怒川堤防の本復旧状況



議員 川口 政弥  
民主党 浦市選出  
一括方式

#### 地方創生における総合戦略などの実現に向けた取り組み

議員 地方創生は人口減少問題に取り組み、活力ある地域づくりを推進していく上で残された数少ないチャンスの一つである。今後、どのように「茨城創生」に取り組んでいくのか。

知事 人口減少の進行を緩やかにするとともに、将来にわたって活力ある地域社会を維持できるように、本県の強みを最大限に生かして、さまざまな施策に全力で取り組み、若者や女性の希望がかなえられる茨城創生の実現を目指していく。

#### 文化芸術に触れる機会の充実

議員 人格形成上、児童生徒が文化芸術に触れることは大変重要である。県内の素晴らしい財産を生かし、文化芸術に触れる機会をどのように充実させていくのか。

教育長 県立美術館や博物館の魅力を高めるとともに、学校における取り組みを充実し、児童生徒が優れた文化芸術を鑑賞・体験する機会を数多く提供することにより、心の教育を一層推進していく。(ほかに、読書量の確保に向けた取り組み、県道取手つくば線の酒詰交差点改良なども質問)



文化芸術活動の拠点施設である県近代美術館



議員 高橋 勝則  
民主党 古河市選出  
一括方式

#### 河川の防災対策の強化と宮戸川の整備

議員 大規模な災害に備え、河川の防災対策に必要な資材を十分に備蓄しておくこと、関東・東北豪雨で決壊した宮戸川についての計画的な治水対策を行うことなどが必要と考えるが、所見は。

土木部長 備蓄材については、今後も確保に努めるとともに、関係機関との意見交換会などを通して備蓄材の情報をしっかりと共有していく。宮戸川については、堤防などの調査を進め、結果を踏まえて整備手法などを検討していく。



宮戸川(古河市)における応急復旧工事の状況

#### 骨髄移植の推進

議員 骨髄移植を推進するため、骨髄ドナーに対する助成制度を導入するとともに、ドナー登録を増やすための普及啓発の取り組みを強化すべきと考えるが、所見は。

保健福祉部長 助成制度については、いくつかの市町で導入の動きがあり、県でも市町村が骨髄提供者に補助する経費の一部を助成する制度を設けていきたい。普及啓発については、SNSなどを活用して効果的な活動を展開していく。(ほかに、要援護者の避難対策、定時制高校の役割なども質問)

### 大規模災害対策調査特別委員会

地球規模の気候変動などにより、県民生活を取り巻く環境は大きく変容しており、台風や竜巻、ゲリラ豪雨、大雪などの異常気象が多発するなど、県民の安全・安心な生活が脅かされております。特に近年では、東日本大震災や竜巻、昨年九月の関東・東北豪雨などにより、本県においても、人的・物的両面において甚大な被害が発生し、災害対策の重要性を再認識させられたところであります。

また、県内ではLNG基地や大規模コンビナートの集積など、企業立地や企業活動が進展を見せる中、そのような場所で火災などの事故に見舞われるようなことがあれば、その被害は従前にも増して甚大なものになることが想定されます。このように大規模災害発生時の蓋然性が高まる状況下において、これら災害から県民の生命と財産を守るための対策の強化は、急務となっております。

そこで、県議会では、大規模災害発生時の被害を最小限に食い止め、県民の安全・安心を確保するため、大規模災害対策の在り方などについて調査・検討を行う「大規模災害対策調査特別委員会」を三月二十四日の本会議で設置しました。委員構成は十五名で、次の通りです。

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 細谷 典幸  |
| 副委員長 | 神達 岳志  |
| 委員   | 葉梨 昌良  |
|      | 西條 衛   |
|      | 飯塚 秋男  |
|      | 常井 洋治  |
|      | 本澤 光   |
|      | 先崎 徹   |
| 委員   | 島田 幸三  |
|      | 鈴木 達也  |
|      | 磯崎 智男  |
|      | 飯田 光雄  |
|      | 佐藤 義弘  |
|      | 井手 たい子 |
|      | 山中 義弘  |

### YouTubeによる本会議および予算特別委員会の録画映像の配信をはじめました。

平成27年第4回定例会の録画映像からご覧になれます。YouTubeの県議会チャンネルには、県議会ホームページから入ることができます。なお、県議会ホームページでも、本会議および予算特別委員会の生中継、録画映像の配信を行っています。

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



※【小1プロブレム】…小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない、授業中に座ってられないなど、学校生活になじめない状態が続くこと。



### 一般質問(要旨)



議員 外塚 潔  
いばらき自民党  
かすみがうら市選出  
一括方式

**野生鳥獣による農作物被害への対策**

議員 野生鳥獣、特に鳥類によるレンコンの被害は深刻であり、被害金額は毎年四億円前後となっている。鳥類の生態をさらに研究し、対策を練っていくべきだが、今後、どのように取り組んでいくのか。  
農林水産部長 県では、茨城大学と協力して水鳥の実態を解明する調査を進めているところである。併せて、つくばの研究機関の調査結果を活用するなどレンコンの生産性と自然環境にも配慮した新たな被害防止策も検討していく。



議員 光雄 佐藤  
いばらき自民党  
戸市選出  
一括方式

**若者の雇用対策の推進**

議員 非正規雇用は正規雇用と比較して賃金格差が大きく、未婚化や少子化の要因にもなっているが、若者の正規雇用化への支援をどう推進していくのか。  
知事 県内経済団体への新卒採用枠の拡大要請や若者の正規雇用に意欲的な企業による就職面接会の開催などにより支援しているほか、新たに若者正規雇用化支援スキルアップ事業を実施していく。加えて、さまざまな産業振興策も講じ、正規雇用の創出に取り組んでいく。

**つくばの景観づくり**

議員 本年五月のG7茨城・つくば科学技術大臣会合を契機に、つくばの景観づくりのため、街路樹の計画や管理マニュアルなどを策定していくべきである。今後、どのように取り組んでいくのか。

土木部長 街並みとも調和した新しい道路景観を街路樹で創り出すために検討委員会を立ち上げ、その意見などを踏まえ街路樹の維持・再生のための計画を策定し管理マニュアルについても検討する。  
(ほかに、茨城県総合計画、世界湖沼会議の取り組みなども質問)



新たな被害防止策が求められるハス田

**投票率の向上**

議員 今夏の参議院議員選挙から選挙権年齢が十八歳以上になる予定だが、投票率向上の取り組みは。選挙管理委員会委員長 二月に県内全域で十八歳選挙権啓発統一キャンペーンを行ったが、家庭において親子で投票の意義を考えられるような啓発も検討したい。また、投票環境の整備のため、駅や商業施設、大学などへの期日前投票所の設置を市町村に働き掛けていく。

(ほかに、待機児童ゼロの早期実現、国民健康保険の安定的な運営の確保なども質問)



大好きいばらき就職面接会の様子



議員 水柿 一俊  
いばらき自民党  
筑西市選出  
一括方式

**新中核病院などの整備による医療提供体制の充実**

議員 筑西・下妻二次保健医療圏の人口十万人当たりの医師数は、県平均にも程遠い状況にある。新中核病院と桜川市立病院の整備による医療体制の充実に向けて、県としてどう支援していくのか。  
保健福祉部長 両病院の平成三十年十月の開院目標を見据え、ハード面の整備に併せて、今後重要性がますます高まっている医師や看護師の確保などソフト面の充実について、筑西・桜川両市に対して最大限の支援を行っていく。

**自動車盗難防止に向けた取り組み**

議員 本県は自動車盗難の人口十万人当たりの犯罪率が全国ワースト一位であり、地元県西地域でも多発している。今後、自動車盗難防止に向けた取り組みは。  
警察本部長 盗難防止器具などの広報啓発や関係団体などと自動車盗難防止対策会議を開催し、官民一体の抑止対策を推進するほか、組織的犯行グループに対する捜査の強化など警察の総力を挙げて取り組んでいく。

(ほかに、水田農業の確立、県道筑西つくば線の整備なども質問)



盗難防止用タイヤロック(左)とハンドルロック(右)



議員 村上 典男  
いばらき自民党  
笠間市選出  
一括方式

**生活困窮者自立支援制度の活用**

議員 平成二十七年年度から始まった生活困窮者自立支援制度が、十分に活用されていない状況にある。支援を必要とする方々が制度を十分に活用できるように、今後どのように取り組んでいくのか。  
保健福祉部長 相談支援の窓口には生活困窮者の情報を把握する各課とのさらなる連携を働き掛けるほか、就労支援などの任意事業について県所管の町村部で充実を図るとともに、各市に共同実施を働きかけるなど推進に取り組んでいく。

(ほかに、気候変動の影響への適応、本県の花き振興なども質問)



4月に開校した県立笠間陶芸高等学校

**笠間焼の担い手のレベルアップ**

議員 県では、窯業指導所の人材育成体制を一新し、四月から県立笠間陶芸高等学校を開校することとしているが、笠間焼の担い手のレベルアップに向けた新たな人材育成内容とそとの体制整備は。  
商工労働部長 多様な技法や大物の制作なども本格的に学べるようにするとともに、磁器の制作も取り入れる。また、常勤の特任教授については、第一線で活躍する二名の若手陶芸作家を採用している。

(ほかに、気候変動の影響への適応、本県の花き振興なども質問)

### 福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県 議会議長会を開催

二月三日から四日にかけて、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会を本県の水戸市とつくば市で開催しました。

この会議は、各県に関連する重要な課題について情報、意見を交換し、各県議会の活性化、県勢の発展および五県地域の発展に寄与することを目的として毎年開催されており、今年も、地方自治体の重要課題となっている「地方創生」をテーマに、本県の小川一成議長と川津隆副議長をはじめ、五県の正副議長や議会事務局長などが出席し、協議などを行いました。  
会議では、初めに開催県を代表し、本県の小川議長より、「地方創生は、全国の地方自治体が相互に限られた資源と知恵を共有し、県境を超えて連携することが有効、かつ、不可欠であり、この会議により五県相互の理解と連携をより一層深めたい」との開会の挨拶を行いました。



開会の挨拶を行う小川一成議長



セグウェイの試乗を行う小川議長

また、「地方創生」に関する協議では、初めに、内閣府地方創生推進室次長の麦島健志氏から、「広域連携を進める地方創生について」をテーマに、広域連携の有効性などについて講演をいただいた後、各県から地方創生に関する取り組みに関する説明を行い、それらを基に活発な意見交換を行いました。  
翌日は、最先端科学技術の集積するつくば市で視察を行い、初めに、つくば市役所で「ロボットの街つくば」の取り組みについて説明を受けるとともに、取り組みの一環として導入しているセグウェイの試乗を行いました。

※【保健医療圏】…一次保健医療は「通院できる程度の疾病に対する医療」、二次保健医療は「一般的な入院が必要な医療」、三次保健医療は「高度・特殊な医療」であり、それぞれ県が医療圏を定めている。



# 予 算 特 別 委 員 会

## ● 質問者

- 本澤 徹 (いばらき自民党)
- 長谷川 修平 (民進党)
- 長谷川 重幸 (いばらき自民党)
- 飯田 智男 (自民県政クラブ)
- 田口 伸一 (いばらき自民党)
- 石井 邦一 (いばらき自民党)
- 戸井田 和之 (無所属)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 八島 功男 (公明党)
- 石田 進 (いばらき自民党)

み合わせによる機能的な体制構築を図り、効率的な行政運営に努める。また、臨時・非常勤職員の雇用期間は法令などに基づき定めているが、国における働き方改革の動向を注視し、県としても処遇の改善に努めていく。

(ほかに、十八歳選挙権導入に伴う高校生への政治活動、県北振興なども質問)

**長谷川重幸委員 (自民)** 農業の分野においても、北関東三県で有効に連携を取り、お互いに農業の振興に共同で取り組むべきであるが、今後どのように取り組んでいくのか。

**農林水産部長** 平成二十七年は本県で農産物の輸出に係る鮮度保持実証試験を栃木県、群馬県とともに実施した。二十八年度は試験結果を踏まえた各種検証を行う際に、両県に呼び掛けるとともに、両県の事業にも参加していく。また、農産物の輸出以外でも、技術開発に関する会議の開催や稲の病害虫対策などに共同で取り組んでおり、今後とも、積極的に連携していく。

(ほかに、T P Pの対応策、伝統文化の継承・発展なども質問)

**飯田智男委員 (自民)** 自主防災組織や県民一人一人の自助の強化に向けて、多くの県民が防災士の資格を取得すべきである。今後、防災士資格の普及啓発や資格取得者の増加を目指して、県としてどう取り組むのか。

**生活環境部長** 本県の平成二十八年二月末現在の防災士登録数は二千二百七十五人と少ない状況にあることから、県の広報誌やホームページなどを活用して防災士の重要性を周知するほか、地域防災のリーダーを養成する、いばらき防災大学の定員や開催場所の増加により受講者の拡大を図るなど、防災士の資格取得者の増加に努める。

(ほかに、自主防災組織の結成促進、住民への防災情報の発信なども質問)

**田口伸一委員 (自民)** 動物愛護の推進には、愛護施設の整備や譲渡事業の拡充などの「出口対策」の充実もさることながら、「入口対策」としての県民の意識改革が最も重要である。動物愛護の「入口対策」に関する所見は。

**保健福祉部長** 生涯にわたって犬猫を飼い続けることが重要である。犬猫の販売業者には適正飼育について購入者への説明責任を果たすよう、譲渡を受けの方および多頭飼育者には適正飼育に向けて指導していく。また、県民の意識改革のため、市町村、関係団体および動物愛護のボランティアの協力を得ながら啓発活動に取り組んでいく。

(ほかに、米の需給バランスと今後の米政策、水田の基盤整備なども質問)

**石井邦一委員 (自民)** 人口減少は待ったなしの状況であり、早急に有効な手段を取らなければならないが、そのためには、どこに問題点があるのか、地域の実態をしっかりと把握し、その上で対策を講じていくべきと考えるが、どう取り組んでいくのか。

**知事** 平成二十八年度は、人口減少などが著しい地域を選定し、買物環境、医療などの現状や不便に感じていることなど、生活環境に関する実態調査を実施することとしており、この結果を基に必要なサービスの効果的な組み合わせや官民の役割分担、事業の採算性など施策の具体化に向け検討していく。

(ほかに、F I T構想の推進、茨城県の伝統産業の活性化なども質問)

**戸井田和之委員 (無所属)** 茨城空港へのアクセス道路として、常磐道の石岡小美玉スマートインターチェンジと空港を結ぶ道路が事業化されたが、今後の整備見通しは。

**土木部長** 昨年十一月以降、地元説明会や用地測量を行ってきたところであり、平成二十八年から用地買収に着手したいと考えている。首都圏にお

て大幅な増加が予測される国際線の航空需要を取り込むためにも、できるだけ早期に開通させることが重要と認識しており、東京オリンピック・パラリンピックや茨城国体も見据え、スピード感を持って整備を進めていきたい。

(ほかに、道路の維持補修、信号機の新設なども質問)

**山中たい子委員 (共産)** 太陽光発電については、自然や景観を壊すとともに、住民の安全にも関わる重大問題になっている。本県ではガイドラインを策定する方針だが、景観、観光、生活環境への配慮や地元への説明と同意を得ることも重要と考えるが、所見は。

**知事** 一ヘクタール以下の小規模な施設や法律上の許認可を必要としない施設にも対応できる県独自のガイドラインを策定する予定である。立地を避けるべきエリアなどの指定や地元住民への説明の実施、安全な施工管理など、景観や観光面、防災などさまざまな問題に対応できるものとしていきたい。

(ほかに、小中一貫教育、豪雨災害対策と支援策なども質問)

**八島功男委員 (公明)** 積立基金や歳計現金を一体的にまとめるなどして、金額の増加によるスケールメリットを生かし、資金運用の多様化を図るべきと考えるが、運用先の多様化について今後どのように進めていくのか。

**総務部長** 預金については、引き合いに参加する金融機関の範囲や預金枠の拡大を検討する。また、積立基金の債券運用における毎年度の買い増しのペースを上げることについても検討するほか、新しい資金運用の方法についても他県の先進事例などを参考に検討し、運用先の多様化を図っていく。

(ほかに、ワーク・ライフ・バランスと働き方の改革、マイナンバーと行政事務における活用も質問)

**石田進委員 (自民)** 不登校児童・生徒への対応として、コミュニケーション能力の向上などに寄与するスポーツは大変重要と考える。スポーツを通して児童の人的基礎づくりの機会を積極的につくるべきと考えるが、所見は。

**教育長** スポーツを通じた他者との人間関係の構築などは、不登校の未然防止にもつながると考える。今後は、小学生ができるだけ多くスポーツに出会える機会を増やすため、県体育協会などと連携を深め、スポーツ少年団の活動を積極的に支援するとともに、学校体育の一層の充実も図っていく。

(ほかに、選挙権年齢引き下げを踏まえた高等学校と後援会などの関わり方、水産業における輸出促進なども質問)

## お知らせ

次回の、平成28年第2回定例会は、6月6日から21日までの16日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議 事 予 定
6.6	月	議会運営委員会 本会議 (開会、知事提出議案説明)
7	火	休会 (議案調査)
8	水	休会 (議案調査)
9	木	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑)
10	金	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑)
11	土	
12	日	
13	月	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑、 議案常任委員会付託)
14	火	休会 (委員会審査準備)
15	水	休会 (常任委員会)
16	木	休会 (常任委員会)
17	金	休会 (大規模災害対策調査特別委員会)
18	土	
19	日	
20	月	休会 (国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)
21	火	議会運営委員会 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

【自主防災組織】…自分たちの地域で、自分たちでできる防災活動を行うために結成される組織。  
 【防災士】…N P O法人日本防災士機構が認証する民間資格であり、社会のさまざまな場で、被災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識や知識などを有する者。  
 【歳計現金】…県の歳入歳出に属する現金のこと。



# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

**茨城県北芸術祭の成功に向けた今後の取り組みは、地元への情報提供やボランティアの募集などを行う**

**問** 茨城県北芸術祭の成功に向けて、地元市町との連携や県民参加が重要となるが、今後、どのように取り組んでいくのか。

**答** 今後、展示プランが具体化していく中で情報提供に努めつつ、市町との連携を進めるとともに、作品制作や運営補助などを行うボランティアの募集なども行っていく。また、地元が行う取り組みについても支援していく。

**問** 平成二十八年度から実施する、ふるさと県民登録制度における「ふるさと県民パスポート」の内容は。

**答** 東京圏の住民などを対象に「いばらきふるさと県民」として登録し、パスポートを発行する。登録者にはさまざまな特典を付与し、本県への継続的な訪問や滞在を促進することで、本県への二地域居住や移住につなげていく。

**問** 茨城空港は、東日本大震災直後に、成田、羽田空港に入れない航空機が給油のために利用するなど、ポテンシャルが高

**問** 新たに設置する茨城県公共施設長寿命化等推進基金について、どのように活用していくのか。

**答** 本基金は、財政負担の平準化を図りながら、計画的に施設の修繕などを実施していくために設置するものであり、具体的には、大規模施設の改修の集中などにより一般財源が不足する場合に、取り崩しを行うことを想定している。(ほかに、新しい県総合計画、茨城県公共交通活性化指針なども質問)

**問** 学生などのUIJターンや地元への定着を図るためには、企業を含めた地域に関する情報を知ってもらうことが重要であるが、そのための取り組みは。

**答** 地域を知ってもらうための情報については、現在の就職支援サイトを拡充し、生活情報や県内企業五百社以上の情報、Uターン就職した若手社員の情報も含めて、的確に発信していく。



**KENPOKU ART 2016**  
茨城県北芸術祭  
2016.9.17-11.20  
www.kenpoku-art.jp

県北6市町において開催される茨城県北芸術祭

## 防災環境商工委員会

**学生などに地域の情報を知ってもらうための取り組みは、就職支援サイトを拡充し、的確に情報発信していく**

**問** 設けたほか、自主防災活動を支援する平成二十七年年度の「自主防災リーダー研修会」においては、地域防災活動への女性の関わりについて講話を実施している。

**問** 第十七回世界湖沼会議の本県開催に向けて、市民活動を活性化するため、どのように取り組んでいくのか。

**答** 市民団体の活動を発表できるようなプログラムを会議に取り入れたこと、できるだけ早くうちに、団体を集めて意見交換会を開催し、意見や要望を伺うなど、市民活動を活性化させながら開催準備を進めていく。

**問** 現在、モデル事業として、在宅医療と介護の専門職間の顔の見える関係づくりや情報の共有化などに取り組んでおり、在宅医療と介護との連携強化を推進している。これらの成果を県内に広め、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指す。

**問** 県立中央病院は、婦人科のがん治療の拠点という位置付けも求められていると思うが、所見は。

**答** 婦人科がん患者数が急激に伸びている中、県立中央病

**問** 設けたほか、自主防災活動を支援する平成二十七年年度の「自主防災リーダー研修会」においては、地域防災活動への女性の関わりについて講話を実施している。



**COMPANY**  
いい顔で働ける企業。  
本県の就職支援サイトにおける企業情報

## 保健福祉委員会

**新たに設置される子ども政策局の目的とは、結婚、妊娠・出産、育児の切れ目のない支援を行う**

**問** 四月から組織再編により新たに子ども政策局が設置されるが、その目的と業務とは。

**答** 結婚、妊娠・出産、育児というライフステージにおいて、より効果的なサポート体制の整備を進め、切れ目のない支援を行うとともに、ひとり親家庭の生活支援や学習支援などさまざまな課題に重点的に取り組む。併せて、関連施策を推進する他部局との連携を一層強化していく。

**問** 地域で高齢者を支えるため、介護施設の整備に併せて、在宅医療や介護のサービス提供が必要だが、体制整備に向けた県の取り組みは。

**答** 現在、モデル事業として、在宅医療と介護の専門職間の顔の見える関係づくりや情報の共有化などに取り組んでおり、在宅医療と介護との連携強化を推進している。これらの成果を県内に広め、住み慣れた地域で暮らし続けられる社会の実現を目指す。

**問** 県立中央病院は、婦人科のがん治療の拠点という位置付けも求められていると思うが、所見は。

**答** 婦人科がん患者数が急激に伸びている中、県立中央病

**問** 設けたほか、自主防災活動を支援する平成二十七年年度の「自主防災リーダー研修会」においては、地域防災活動への女性の関わりについて講話を実施している。



放課後子ども教室での活動の様子

**問** 県立中央病院の地域連携システムには、市内では十四の医療機関が参加しているが、利用頻度にばらつきがある。PRして、システムの導入、利用促進に努めるべきでは。

**答** 患者の紹介・逆紹介の件数の多寡で利用実績に違いがある。システムでは、カルテ情報および放射線画像を提供しており、必要に応じて利用してもらっている。今後は薬局への利用拡大も図っていく。(ほかに、障害者の就労、産科再開の状況なども質問)



農林水産委員会

本県農林水産業の今後の展望は  
ブランド戦略を推進する

**問** 新しい茨城農業改革大綱を策定中と聞いているが、本県の農林水産業の今後の展望をどのように考えているのか。

**答** 今後は、人口減少などによる食料需要の減少や産地間競争の激化が予想されることから、消費者の目線に立ったブランド戦略を進め、「人と産地が輝く、信頼のいばらきブランド」を目指していく。



消費者の目線に立ったブランド戦略を推進

**問** 日本穀物検定協会によるコメの食味ランキングについて、本県では平成十九年から特A評価が取得できていないが、その要因と対策は。

**答** 要因は、炊飯時のツヤ不足と聞いているが、温暖化の影響も考えられる。本県では平成二十五年度から技術改善に取り組み始めたところであり、今後はさらなる対応策を検討し、特A評価の早期取得を目指していく。

**問** 農業のグローバル化に対応するため、産学官連携などにより、ICT農業県を目指すべきと考えるが。

**答** 水田農業では、水位管理や収量の自動測定の実証を行うなど、農業の低コスト化の実現に向け、ICT活用の取り組みを支援する。また、つ

くば市にある農業・食品産業技術総合研究機構と定期的に意見交換を行っているところであり、こうした筑波研究学園都市の優位性を最大限生かしながら生産性の向上などを図っていく。

**問** 本県水産物の輸出の現状と今後の取り組みは。

**答** 平成二十六年の本県水産物の輸出額は、冷凍物を中心に約三十一億円と推定されている。今後は、冷凍物のほか、加工品や霞ヶ浦のワカサギなどの鮮魚も含め、新たな輸出品目を発掘し、輸出の拡大に努めていく。

(ほかに、関東・東北豪雨における被災農地の集積促進、TPP協定による本県農林水産物への影響額なども質問)

土木企業委員会

東関東自動車道水戸線の  
進捗状況は  
用地の取得が進み、  
全線で工事に着手している

**問** 東関東自動車道水戸線の潮来ICから茨城空港北IC間の進捗状況は。

**答** 潮来ICから(仮称)鉦田IC間は、国土交通省が八割近くの用地を取得し、平成二十七年年度に工事に着手している。また、(仮称)鉦田ICから茨城空港北IC間は、東日本高速道路(株)が九十八%の用地を取得しており、全線で着工している状況である。

**問** 平成二十八年度当初予算案における県全体の国補公共事業費は、前年度に比べ約三百八十二億円の減などとなっているが、土木部の状況は。

**答** 土木部における直轄事業については、圏央道の負担金が減少したために約八十億円の減となっている。また、県単公共事業費については、道路緊急修繕や河川の減災対策などのため、前年度より約十六億円の増額となっている。

**問** 県道大洗友部線の茨城町海老沢から駒場までの一部区間は、歩道が無く狭隘である。また、中学校の通学路である。この区間の整備は、画もある。この区間の整備は、画もある。この区間の整備は、画もある。

**答** 小学校の通学路に指定されている区間はおおむね歩道



茨城空港北IC(茨城町)付近の整備状況(東日本高速道路(株)提供)

を設置済みであるが、その他の区間については歩道がないなど、将来整備が必要な区間もある。また、ほ場整備事業と併せた用地の確保について町の意見を聞き検討していく。

**問** 河川緊急減災対策事業における土砂などの撤去の判断基準と今後の進め方は。

**答** 河道断面のうち三割程度以上の土砂などの堆積を撤去する基準としており、調査の結果、緊急的に対策を要する箇所は九十箇所となっている。平成二十八年度は、このうち三十箇所の対策を行う予定であり、今後の三年間で実施する計画となっている。

文教警察委員会

交通安全対策にどのように  
取り組むのか  
高齢者への交通安全教育や  
取締りの強化に努める

**問** 交通死亡事故が多発しているが、交通安全対策にどのように取り組んでいくのか。

**答** 高齢者や子供、運転者などへの交通安全教育に力を入れ、悪質・危険な運転者への取り締まりを強化するとともにシートベルト着用など、県民のルール意識を高めていく。また、通勤時間帯の制服警察官の立哨活動など、県民が安心を感じるような活動に取り組んでいく。

**問** 今年五月に開催されるG7茨城・つくば科学技術大臣会合においては、警備対策が重要となるが、どのように取り組んでいくのか。

**答** 会合の円滑な進行のためには、テロの未然防止と国内要人の安全を確保する必要があり。そのためには、つくば市民や県民などの理解と協力が不可欠である。警備への協力についてあらゆる広報媒体を活用し情報発信を行っており、会合の成功に向け警備の万全を期す。

**問** 高校生による県議会傍聴は大変良い機会と考えるが、学校での教育にどのように生かしていくのか。

**答** 地域の問題について県議



高齢者を対象とした交通安全講習会の様子

(ほかに、職業教育の充実、警察犬の積極的な活用に向けた取り組みなども質問)



### 今定例会で可決された議案

#### 議員等提出

##### ◆条例の一部改正

- 茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例
- 茨城県議会情報公開条例の一部を改正する条例
- 茨城県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例
- 茨城県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例
- 茨城県消費生活条例の一部を改正する条例
- 茨城県地域医療再生基金条例の一部を改正する条例
- 茨城県健康やかことも基金条例の一部を改正する条例
- 茨城県地域自給対策緊急強化基金条例の一部を改正する条例

##### ◆意見書

- 白タク行為の容認を旨とした規制改革の自粛を求める意見書

##### ◆知事提出

##### ◆平成二十八年度当初予算関係

- 一般会計予算(一件)
- 特別会計予算(十二件)
- 企業会計予算(六件)

##### ◆平成二十七年度補正予算関係

- 一般会計予算(一件)
- 特別会計予算(十二件)
- 企業会計予算(六件)

##### ◆条例の制定

- 茨城県行政不服審査会条例
- 行政不服審査法に基づく書面等の交付に係る手数料の額等を定める条例
- 職員の退職管理に関する条例
- 茨城県地方活力向上地域等における県税の特別措置に関する条例
- 茨城県国民健康保険財政安定化基金条例
- 茨城県東日本大震災復興交付金基金条例の一部を改正する条例
- 茨城県行政組織条例の一部を改正する条例
- 茨城県健康やかことも基金条例の一部を改正する条例
- 茨城県地域医療再生基金条例の一部を改正する条例
- 茨城県健康やかことも基金条例の一部を改正する条例
- 茨城県地域自給対策緊急強化基金条例の一部を改正する条例

##### ◆人事

- 教育委員会委員の任命について
- 公安委員会委員の任命について

##### ◆その他

- 包括外部監査契約の締結について
- 男女共同参画の推進に関する基本的な計画について
- 県有財産の売却処分について
- 法人に対する出資について
- 県が行う建設事業等に対する市町の負担額について
- 工事請負契約の締結について
- 権利の放棄について

##### ◆報告

- 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

### 可決された意見書

- 白タク行為の容認を旨とした規制改革の自粛を求める意見書

(全文はホームページでご覧いただけます)

### 委員会等人事

桜井富夫議員が議会運営委員会委員を三月二十五日付、議会改革推進会議委員を四月一日付で辞任したことに伴い、新たに両委員に葉梨衛議員が選任されました。

## 県議会のしくみ

### 県議会の役割

#### 県民の代表者による話し合いの場

私たちの住む茨城県を、より良い郷土にしていくためには、みんなで話し合い、そして決めたことを実行していかなければなりません。しかし、県民全員が集まって相談することは、実際には困難です。

そこで、選挙によって代表者を選び、県民のために働いてもらう、という議会政治の方法がとられ、県議会が設けられています。

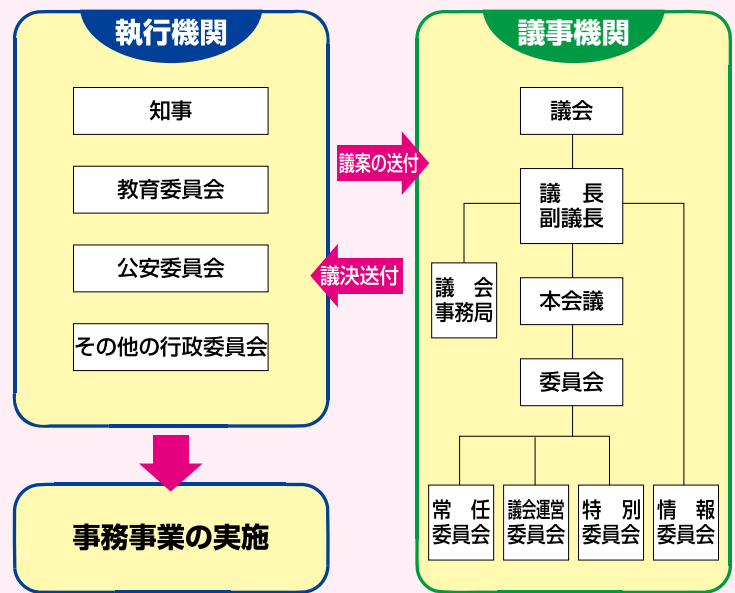
県議会は、県民から選ばれた議員によって構成され、県民全体を幸福にするための方法について、話し合っていて決めています。なお、このような相談・決定の場を、議事機関といいます。

#### 知事などの仕事を検査・調査

県議会で決められたことは、知事部局・教育委員会・公安委員会などにおいて、実行に移されます。決められたことに基づき実際に仕事をする、これらのところを、執行機関といいます。

執行機関の仕事が適正なものか、決められた通りに進められているかどうかについて、県議会は検査・調査をする権限を持ち、事務の内容について確認しています。県議会(議事機関)と執行機関は、それぞれ独立した機関として対等の立場にあり、互いに協力して県政を運営しているところから、車の両輪に例えられています。

### 2本の柱(議事機関と執行機関)



### 県議会の概要

#### 主な権限

**議決権**：これは議会に与えられた最も重要な権限で、大きく3つに分かれます。

- ①立法に関するもの
  - 県条例を定めたり、改正したり、廃止したりすることを決めます。
- ②財政に関するもの
  - 県の予算を決めたり、決算を認定したり、県の一定基準以上の財産を取得または処分することを決めます。
- ③その他
  - 県が大事な契約をするとき、また市町村の合併を決めるときなど、重要な事項については全て議会の議決が必要です。
  - また、県民から提出された請願を審査し、適当なものは県政に反映されるよう努めます。

**検査権と調査権**：議会で決めた通りに県が仕事をしているかどうか検査し、調査する権限です。必要に応じて執行機関に報告を請求し、説明を聴取したり、関係人を呼んで証言を求めたりすることができます。

**同意権**：副知事、教育長、教育委員会委員など、重要な人事は知事が選任または任命する前に議会の同意が必要となります。

**意見書提出権**：県民の利益に関することについて、議会の意思を意見書としてまとめ、国会や関係行政機関に提出することができます。

**選挙権**：議長、副議長、選挙管理委員会委員などを選挙します。

#### 議長と副議長の役割

議長、副議長とも議会の選挙によって選ばれます。議長は議会の運営について法律や規則によって権限が与えられており、議会を代表します。副議長は、議長が病気その他事故があるとき、また議長が欠けたときに、議長の代わりを務めます。

#### 定例会と臨時会

毎年決まった時期に開かれるのが定例会です。通常2月、6月、9月、12月の時期で年4回あり、県民の生活に深い関わりのある県政の方針や、予算、条例などを審議しています。また、臨時会は必要があるときに開かれます。なお、議会の招集は知事が行います。



# 議案の審議



## 本会議、委員会、そして再度本会議へ

議員または知事から提出された議案は本会議にかけられます。この本会議は全議員で行われます。ここで議案その他必要な事柄全てについて審議しますが、議案は複雑なもの、専門的なものなどが多く、簡単には決められません。

そこで、より詳しく審査するために専門の委員会が設けられています。この委員会で審査された後※、さらに本会議で再度審議されて採決されます。

※付託された議案のほか、委員会での審査の結果、議案を提出することもあります。

## 議案についての質疑・県政についての質問

議員は提出された議案について、疑問や不明確な点をたずねるために、「質疑」を行います。また県政一般について、執行機関がどう取り組んでいるのか、今後どのように対応するのかについて、「質問」を行います。

本会議では、質問・質疑が一括してなされますが、議員個人の立場で行うのを「一般質問」、会派を代表して行うのを「代表質問」といいます。

## 採決前に討論ができます

議員が議案に賛成か、反対かの意見を述べる機会が採決前に設けられます。これが討論です。

## そして、採決へ

徹底的に審議された後、いよいよ採決の瞬間を迎えます。議案および請願の採決は、普通は挙手によって賛成または反対を表す挙手採決がとられますが、その他の方法による場合もあります。なお、会期中に審議不十分で採決できないときは、次の定例会まで所管の委員会で継続審査されます。

## 可決した議案について

県議会で議決した予算、条例をはじめとする会議の結果は、知事に送付されます。知事などの執行機関は、県議会で決定したことに基づいて、実際の仕事を進めていきます。また、県議会では、県だけでは解決できない問題については、国をはじめとする行政機関に意見書を提出して協力を求めたり、県議会の意思を明確にするため、決議を行ったりしています。

# 茨城県議会議席表



# 委員会の種類

**特別委員会**

**予算特別委員会**  
予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために設置される委員会です。議員改選後の最初の定例会で設置され、それからは議員の任期中継続します。  
委員定数は22人以内です。

**決算特別委員会**  
決算特別委員会は、予算の執行状況が適正かどうかを審査するために設置される委員会です。第2回定例会(6月)で設置され、第4回定例会(12月)において報告されます。

**調査特別委員会**  
県政運営上特に重要であると判断された場合、あるいは緊急の問題がある場合に、必要に応じて設置されます。

**議会運営委員会**  
議会運営の円滑を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。  
委員定数は10人です。

**情報委員会**  
県議会情報公開条例に基づいて、公文書の開示決定などに対する不服申し立ての調査や議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。  
委員定数は10人以内です。

**常任委員会**

**総務企画委員会**  
行政組織・財政などの調整、税務行政、市町村の振興、交通体系の整備、土地利用の調整、県内各地域の振興対策などのほか、他の常任委員会の所管に属さない事項について調査、審査します。  
委員定数は11人です。

**農林水産委員会**  
農業・林業・畜産業・水産業の生産性の向上と生産物の流通対策、土地改良事業の推進、農業用水の整備など、農林水産業振興のための事柄について調査、審査します。  
委員定数は11人です。

**土木企業委員会**  
道路・街路の整備、河川・海岸の保全、砂防施設・港湾の整備、都市計画・公園整備・住宅建設など都市基盤の充実、公共事業のための用地取得などの土木事業、上水道および工業用水道事業などについて調査、審査します。  
委員定数は10人です。

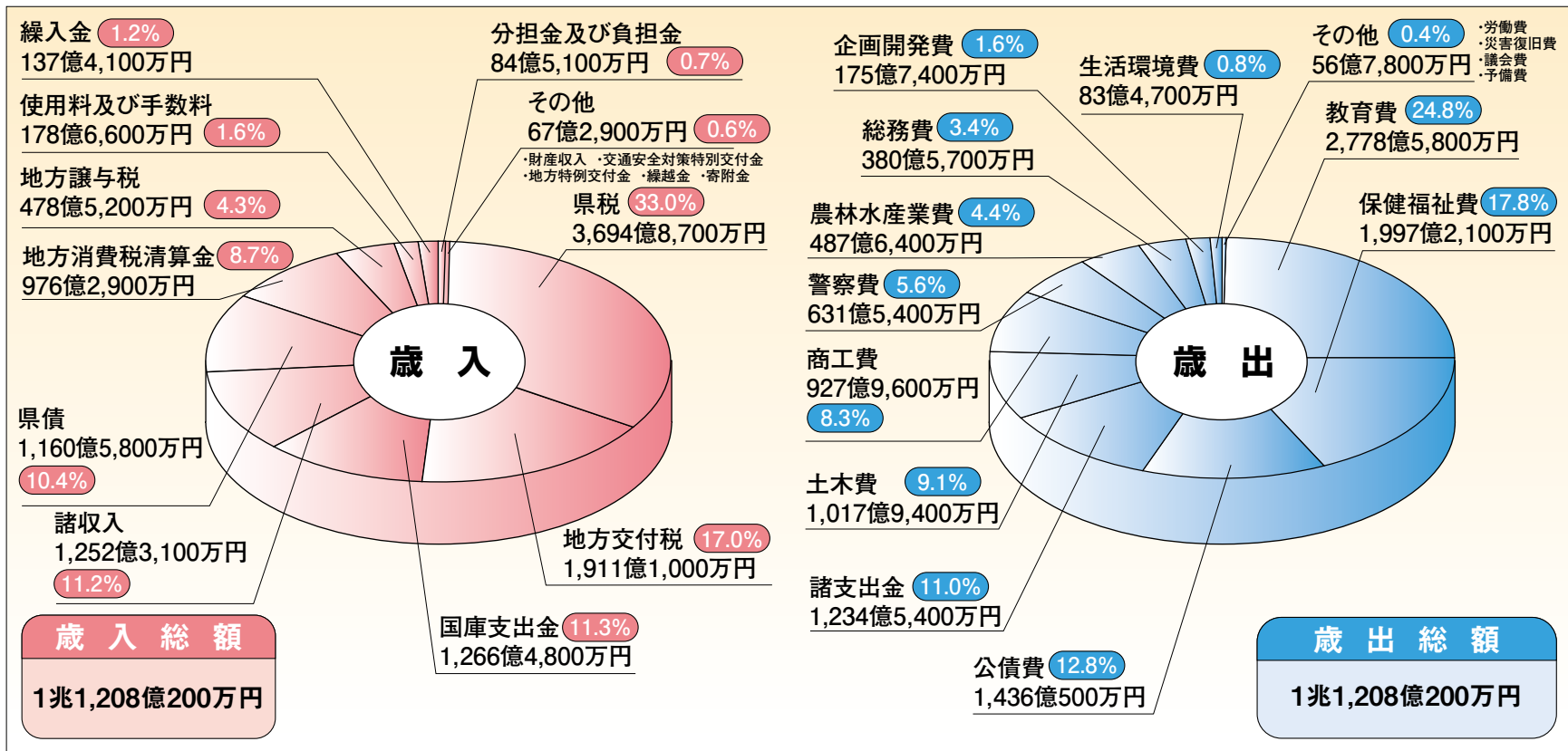
**防災環境商工委員会**  
防災消防対策・消費者行政・原子力安全対策・環境保全などの生活と環境に関わる行政の推進や、商工業の振興・中小企業の育成・観光レクリエーション対策・雇用の確保・労働者福祉の充実などの商工と労働に関する事柄について調査、審査します。  
委員定数は10人です。

**保健福祉委員会**  
社会福祉の向上や児童・高齢者・心身障害児者などの福祉行政の推進、また、医療の充実・健康の増進などの保健対策などについて調査、審査します。  
委員定数は11人です。

**文教警察委員会**  
学校教育の充実・生涯学習の推進・スポーツ活動や文化活動の推進など教育文化行政に関わる事柄や、生活の安全を確保するための交通安全対策や治安の確保および国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備に関する事柄について調査、審査します。  
委員定数は10人です。



# 平成28年度一般会計予算の内訳



## 主な事業

### 1 関東・東北豪雨および東日本大震災からの復旧・復興、防災体制の強化

- 1 関東・東北豪雨対応
  - 浸水対策特別緊急事業
    - 今後5年間で緊急に対策を講じる必要のある八間堀川などの築堤、護岸整備 10億5,000万円
  - 治水直轄事業負担金
    - 河川激甚災害対策特別緊急事業などを利用した鬼怒川などの集中的な改修 28億4,600万円
- 2 防災体制の強化
  - 緊急輸送対策強化事業
    - 緊急輸送道路の整備や重要港湾の機能強化など 173億1,600万円
  - 津波対策強化事業
    - 海岸や河川河口部における堤防・護岸のかさ上げなど 105億1,100万円
  - 大規模建築物等耐震化支援事業
    - 民間の大規模建築物などに係る耐震診断費および耐震改修費への助成 8,400万円
  - 防災倉庫整備事業
    - 新たな備蓄計画の策定に伴い、増加する備蓄量に対応するための防災倉庫の整備 1億6,400万円

### 2 国の施策を踏まえた対策 (地方創生・TPP対策・一億総活躍社会関連)

- グローバルニッチトップ企業育成促進事業
  - 地域の中核的な企業育成のための医療・介護などの分野における研究開発・製品化・導入促進までの一貫した支援 2億円
- ロボット等次世代技術実用化推進事業
  - ロボット産業の育成、次世代技術を活かした中小企業の技術開発支援 1億1,500万円
- いばらきの産地パワーアップ支援事業
  - 高収益作物などへの転換を図るために必要な施設や農業用機械導入に対する支援 21億円
- 畜産競争力強化対策事業
  - 畜産経営体の収益性向上のための施設整備に対する支援 7億2,000万円
- 保育士修学資金等貸付事業
  - 保育人材確保のための資金の貸付 13億5,000万円

- 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業
  - 児童養護施設の退所者などを対象とした就職・進学などを支援するための資金の貸付 2億1,600万円
- 安心こども支援事業
  - 健やかこども基金などを活用した認定こども園などの整備に対する支援 10億8,000万円

### 3 産業大県・生活大県づくりの推進 活力あるいばらきづくり

- いばらき水素戦略推進事業
  - 燃料電池自動車の普及促進に向けた移動式水素ステーションの設置支援および県での車両導入 1,600万円
- 成長産業振興プロジェクト事業
  - 県内の産学官が連携したいばらき成長産業振興協議会の運営および輸出拡大支援員の設置 4,600万円
- いばらき農産物ブランド力強化事業
  - 本県農林水産物のイメージアップによるブランド化の推進 6,000万円
- ブランド豚肉生産拡大事業
  - 新たなブランド豚肉の確立に向けた系統豚生産体制の整備 6,000万円
- 農地集積総合支援事業
  - 農地中間管理機構が行う農地の集約化のための取り組み支援 21億円
- 茨城県北芸術祭推進事業
  - 「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」の開催に向けた作品制作や広報活動 2億8,700万円
- 空港就航対策利用促進事業
  - チャーター便の誘致促進やビジネス利用拡大キャンペーンなどの実施 6億5,000万円

### 住みよいいばらきづくり

- 結婚・わくわくキャンペーン推進事業
  - 結婚相談体制の強化、結婚・子育てに温かい社会づくりへの機運醸成 1億6,700万円
- 小児医療費助成事業、妊産婦医療費助成事業
  - 小児および妊産婦に対する医療費助成に係る所得制限の緩和 31億3,100万円

- 回復期病床整備促進事業
  - 在宅復帰の支援やリハビリを行う回復期病床の整備に対する支援 2億9,600万円
- 老人福祉施設整備事業
  - 高齢者プラン21に基づく老人福祉施設の新設、増築などに対する支援 23億4,000万円
- 地域密着型老人福祉施設整備推進事業
  - 住み慣れた地域での介護サービスを行うための小規模特別養護老人ホームの整備などに対する支援 12億4,900万円
- 生活困窮者自立支援事業
  - 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談や学習支援の実施 5,200万円
- 世界湖沼会議開催準備事業
  - 平成30年に本県で開催される第17回世界湖沼会議に向けた準備および機運醸成 1,200万円

### 人が輝くいばらきづくり

- 就学前教育・家庭教育推進事業
  - 家庭教育を支援するポータルサイトの開設、幼児教育の充実、訪問型支援の実施 2,000万円
- 若手医師教育研修立県いばらき推進事業
  - 若手医師を対象とする特訓ゼミの開催やシミュレーション研修の実施 5,200万円
- 女性・若者企画提案チャレンジ事業
  - 女性や若者を中心とした地域活動団体による企画立案への支援 1,100万円
- いばらき文化芸術創造・発信事業
  - 文化芸術の鑑賞・体験機会の提供、移動展覧会の開催 5,700万円
- 伝統文化総合支援事業
  - 最終補正予算で創設する文化振興基金を活用した伝統文化の継承・発展の取り組みへの支援 1,500万円
- 第74回国民体育大会事業
  - 競技会場の整備を行う市町村に対する支援および大会開催に向けた準備 9億8,500万円
- 県営体育施設再編整備事業
  - 本県開催の国民体育大会の会場となる県営体育施設の改修など 31億5,800万円